

## 羽曳野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について

### 温暖化対策の進捗状況について

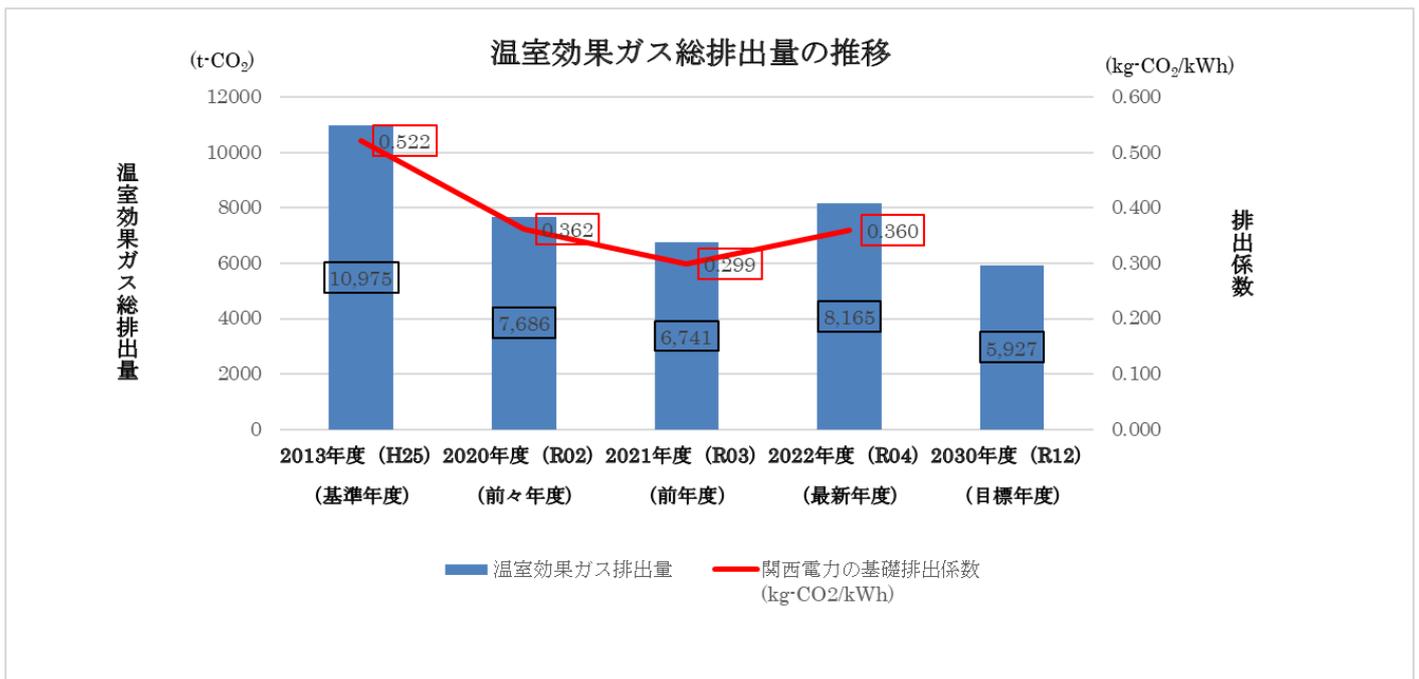
#### （1）2022年度（令和4年度）の点検・評価結果について

2022年度における本市事務事業に係る温室効果ガス総排出量は、8,165t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度である2013年度の排出量10,975t-CO<sub>2</sub>と比較して2,810t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。

しかし、2021年度と2022年度とを比較すると温室効果ガス排出量は増加しています。増加要因としては、新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつある状況で、公共施設等の利用者の増加により、冷暖房等の稼働時間が増加したこと、また、電力契約先である関西電力㈱の排出係数※の変動が影響しています。

※排出係数とは、電気事業者が販売した電力を発電するために、どれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標である。

項目	2013年度 (H25)	2020年度 (R02)	2021年度 (R03)	2022年度 (R04)	2030年度 (R12)
	基準年度	前々年度	前年度	最新年度	目標年度
温室効果ガス 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	10,975	7,686	6,741	8,165	5,927
削減量 (t-CO <sub>2</sub> ) (基準年度比)	—	▲3,289	▲4,234	▲2,810	▲5,048
削減率 (%) (基準年度比)	—	▲30.0	▲38.6	▲25.6	▲46.0
関西電力基礎排出 係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.522	0.362	0.299	0.360	—



●2022 年度のエネルギー起源温室効果ガスの排出状況

温室効果ガスの種別構成

2022 年度（令和 4 年度）における温室効果ガス総排出量は、8,165 t-CO<sub>2</sub> となり、温室効果ガスの種類構成は、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）が、8,159 t-CO<sub>2</sub>（99.9%）、メタン（CH<sub>4</sub>）が 1 t-CO<sub>2</sub> 未満（0.1%未満）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）が 5 t-CO<sub>2</sub>（0.1%）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）は 1 未満 t-CO<sub>2</sub>（0.1% 未満）でした。

単位（t-CO<sub>2</sub>）

用途	排出源	2020 年度	2021 年度	2022 年度	最新年度 削減量	最新年度 削減率
		前々年度	前年度	最新年度	2020 年度比	2020 年度比
施設稼働	電力	5,622	4,661	5,571	▲51	▲0.9%
	都市ガス	1,496	1,504	2,097	601	40.2%
	灯油	167	169	155	▲12	▲7.2%
	A 重油	100	110	75	▲25	▲25.0%
	LPG（液化石油 ガス）	91	94	63	▲28	▲30.8%
	LNG（液化天然 ガス）	1 未満	1 未満	0	-	-
公用車等	ガソリン	123	123	122	▲1	▲0.8%
	軽油	77	74	76	▲1	▲1.3%
<b>二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量</b>		<b>7,676</b>	<b>6,735</b>	<b>8,159</b>	<b>483</b>	<b>6.3%</b>
公用車等	メタン（CH <sub>4</sub> ）	1 未満	1 未満	1 未満	-	-
	一酸化二窒素 （N <sub>2</sub> O）	9	5	5	▲4	▲44.4%
	ハイドロフル オロカーボン （HFC）	1 未満	1 未満	1 未満	-	-
車両走行に伴う排出 （二酸化炭素以外のその他ガス）		10	6	6	▲4	▲40.0%
<b>合 計</b>		<b>7,686</b>	<b>6,741</b>	<b>8,165</b>	<b>479</b>	<b>6.2%</b>

温室効果ガスの用途別構成

本市の事務事業における 2022 年度（令和 4 年度）のエネルギー起源温室効果ガスの総排出量は以下のとおりです。電力使用による排出量が 68.2%と最も多く、次いで都市ガス使用による排出量が 25.7% となっています。これら以外の燃料に関しては、総排出量の 6.1%程度となっています。

2022年度のエネルギー起源別温室効果ガス排出量

用途	排出源	使用量	単位	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	構成比 (%)	
施設稼働	電力	15,475,635	kWh	5,571	68.2	93.9
	都市ガス	938,646	m <sup>3</sup>	2,097	25.7	
	灯油	62,160	L	155	1.9	6.1
	A重油	27,585	L	75	0.9	
	LPG (液化石油ガス)	20,943	kg	63	0.8	
	LNG (液化天然ガス)	0	kg	0	0.0	
公用車等	ガソリン	52,776	L	122	1.5	6.1
	軽油	29,228	L	76	0.9	
<b>二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量</b>				<b>8,159</b>	<b>99.9</b>	
公用車等	メタン (CH <sub>4</sub> )	285	kg	1 未満	0.1 未満	
	一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	4,522	kg	5	0.1	
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)	1,115	kg	1	0.1 未満	
<b>車両走行に伴う排出 (二酸化炭素以外のその他ガス)</b>				<b>6</b>	<b>0.1</b>	
<b>合 計</b>				<b>8,165</b>	<b>100</b>	<b>100</b>

(2) 各担当課および指定管理者別の実施状況

各担当課および指定管理者別のエネルギー起源二酸化炭素排出状況は、以下に示すとおりです。二酸化炭素排出量の多い上位4区分は、「栲みのりの里【指定管理者】」「水道局工務課」「教育総務課」「管財用地課」となっています。

順位	各担当課および指定管理者名	エネルギー起源 二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	割合 (%)
1	栲みのりの里【指定管理者】	1,919	23.5
	主な施設 : 総合スポーツセンター (はびきのコロセラム)、市民会館、古市集会所、市民体育館、生活文化情報センター (LIC はびきの)		
2	水道局工務課	1,696	20.8
	主な施設 : 羽曳野市水道局 (水道管理センター)、浄水場、受水場、配水池等の上水道施設		

3	教育総務課	1,319	16.2
	主な施設 : 小学校 13 校、中学校 5 校、義務教育学校 1 校		
4	管財用地課	1,055	12.9
	主な施設 : 市役所、公用車 (ガソリン)		
5	こども政策課	460	5.6
6	環境衛生課	405	5.0
7	陵南の森総合センター	231	2.8
8	(株)クリーン工房【指定管理者】	204	2.5
9	道路公園課	194	2.4
10	給食センター	144	1.8
—	その他 ( 22 施設 )	532	6.5
合 計		8,159	100